

中国四国地域の果樹

中国四国地域では、多くの種類の果樹が栽培されており、個性豊かな農業が展開されています。

～中国四国果樹日記～

この日記は、果樹班が現地調査等で入手した情報、写真を使い、産地や果実の魅力等を職員の視点で伝えるコーナーです。

【第8回】林ぶどう研究所（岡山県岡山市北区）

岡山県岡山市北区にある林ぶどう研究所を訪問しました。ここでは、様々なぶどうの品種が育種・栽培されています。特に注目すべきは、2014年に林ぶどう研究所で開発されたマスカットジパングです。マスカットジパングは、雨に弱くきめ細やかな水分管理が必要とされるため、技術のある生産者だけが作りこなすことができる希少なぶどうです。溢れ出す果汁と上品で飽きない甘さ、そして爽やかなマスカットの香りを楽しめます。



ハウス内の様子（マスカットジパング）



マスカットジパング

新品種の開発には、長い年月がかかります。林ぶどう研究所では毎年50～100個体を育て、結実までの3年間で残るものは10～20個体ほどです。さらに、結実させた個体でも期待する特徴がなければ世に出すことができません。こうして生み出されたマスカットジパングはまさに‘奇跡のぶどう’です。また、同じ品種であっても、栽培方法によって粒の大きさや味が大きく変わるため、高品質なぶどうを開発すべく、日々研究と改良に取り組まれています。



ハウス内の様子（ゴールドフィンガー）



ゴールドフィンガー

林ぶどう研究所では、様々な品種ごとの特徴を楽しめる食べ比べイベントも開催されています。ひとつひとつのぶどうに異なる味や食感があり、それぞれに育種の工夫やこだわりが込められています。こうした違いを味わいながら、ぶどうづくりの奥深さや品種の多様性に触れてみてはいかがでしょうか。